

尾瀬戸倉の森

東京電力グループ社有地の「尾瀬戸倉の森」には、自然林だけでなく、戦後復興のために一部が伐採され、その後、植林されたカラマツなどの人工林があります。尾瀬戸倉の森は木材を生産するための豊富な森林資源や、貴重な水源涵養機能（水を貯える力）を有し、水力発電や産業、生活を支える「水がめ」でもあります。

東京電力グループでは、森林の多面的な機能の保護と利用を持続的に両立しながら、尾瀬戸倉の森を保全・管理しています。



FSC®の認証の考え方

環境

貴重な動植物の保護区を設け、生態系のバランスを保持するなど

経済

継続的に収入を得られる長期計画を立てるなど

社会

労働者の権利の保護、良好な労働環境を提供するなど

FSC®の認証の種類

- FM認証・・・ 森林管理・経営を対象とした認証
- CoC認証・・・ 認証林からの林産物を加工・流通する過程の管理を対象とした認証

FSC® (Forest Stewardship Council®) の森林認証制度

FSC®（森林管理協議会）は適正な森林管理と、木材の流通や加工のプロセスを認証する国際的な機関です。

労働者の安全をはじめ、森林の環境保全や地域社会の利益に配慮し、経済的にも継続可能な森林管理を普及を目指しています。

消費者は、責任ある森林管理のマークである「FSC®」がついた製品の購入を通じ、世界の森林保全を応援することができます。

『尾瀬戸倉の森』が認証取得

尾瀬戸倉の森は、2010年から森林管理認証(FSC-FM認証)を取得しています。

(認証面積：16,334ha)

尾瀬戸倉の森で生産されたカラマツ材は尾瀬国立公園内の木道に使われ、その木道にはFSC®の認証マークの焼き印が押されています。



FSC®認証材の搬出（カラマツ）



FSC®認証材の木道

『尾瀬戸倉の森』の管理について

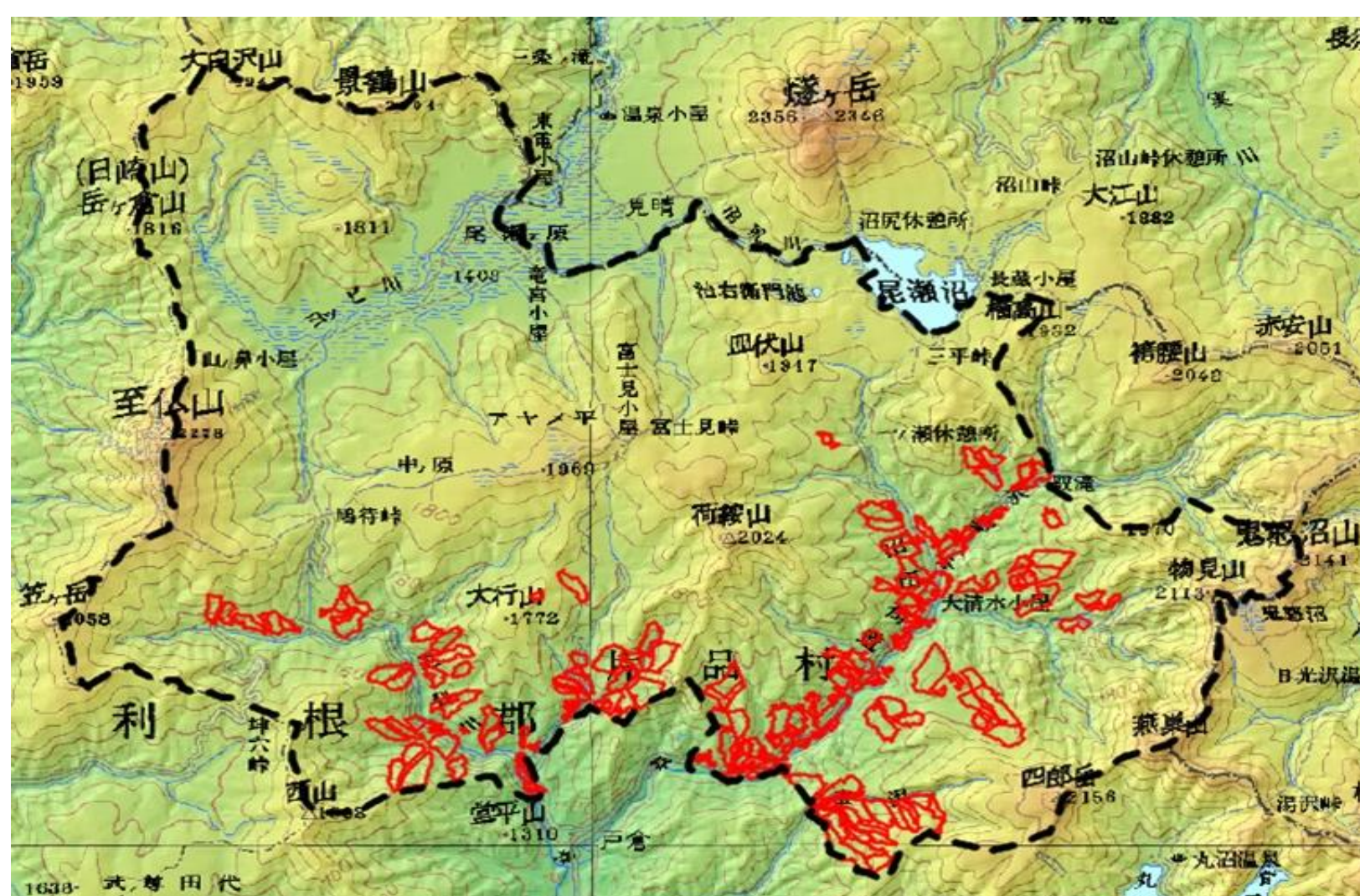
尾瀬戸倉の森は2つのエリアごとに短～長期の計画を立てて管理しています。

●生態系保全エリア（約15,100ha）

主に貴重な自然を保護しています。尾瀬ヶ原・アヤメ平などの湿原、至仏山の高山植生、自然林が該当します。

●森林施業エリア（約1,200ha）

主に木材を生産しています。カラマツなどの人工林が該当します。



FSC®認証範囲（黒点線）と森林施業エリア（赤線）